

六日町商工会会員各位

六日町商工会景況調査報告書(H29.7～9)

組織番号 0 6 3

商工会名 六日町商工会

1. 調査要領

(1) 調査対象

ア 対象地区 六日町商工会地区内小規模事業者
イ 調査企業数 50 事業所 (うち小規模事業者数 50 事業所)
ウ 回答企業数 49 事業所 (うち小規模事業者数 49 事業所)
(回答率 98.0%)

(2) 調査対象期間

平成29年7月～平成29年9月
(調査時点 平成29年9月30日)

(3) 調査方法

経営指導員等による巡回または窓口によるヒアリング調査

(4) 調査対象と回答企業の構成

	調査対象		有効回答	
	企業数	構成比	企業数	構成比
製造業	10	20.0%	9	18.4%
建設業	9	18.0%	9	18.4%
卸・小売業	11	22.0%	11	22.4%
サービス業	20	40.0%	20	40.8%
合計	50	100.0%	49	100.0%

2. 地域内産業全体の景況概要

地区内景況のコメントする

「好転」しているという事業所もあるが、全般的に「不変」「悪化」が多数を占めている。現状維持からの脱却が当地区の課題である。

【後継者の状況】

後継者状況をコメントする

3分の2が後継者なしである。当地区でも事業承継について課題となっている。

後継者 あり	17事業所	34.7%
後継者 なし	32事業所	65.3%

【売上高】

地区内事業者の売上に関するコメントする

前年同期比12ポイント増加、前期比18ポイント増加、今後の見通しは15ポイント減少。売上高は減少しており、先行きに不安を感じている事業所も多い。

前年同期比

増加	不変	減少
16	23	10

前期比

増加	不変	減少
19	20	10

今後の見通し

増加	不変	減少
6	28	15

【採算】

地区内事業者の採算性についてコメントする

前年同期比増減なし、前期比2ポイント減少、今後の見通しは13ポイント減少。採算についても現状では芳しくない状況が続いており、先行きに不安を感じている事業所も多い。

前年同期比

好転	不変	悪化
12	25	12

前期比

好転	不変	悪化
9	29	10

今後の見通し

好転	不変	悪化
8	26	14

【仕入単価】

地区内事業者の仕入状況をコメントする

前年同期比38ポイント増加、前期比24ポイント増加、今後の見通し13ポイント増加。仕入単価の上昇は続いており、今後も仕入単価の上昇を予想している事業所が多い。

前年同期比

上昇	不変	低下
19	27	1

前期比

上昇	不変	低下
13	32	2

今後の見通し

上昇	不変	低下
10	33	4

【販売（客）単価】

地区内事業者の客単価等をコメントする

前年同期比13ポイント増加、前期比4ポイント増加、今後の見通し8ポイント減少。前年同期比、前期比は増加しているが、今後の販売単価の減少を危惧している事業所が多い。

前年同期比

上昇	不変	低下
9	36	3

前期比

上昇	不変	低下
7	36	5

今後の見通し

上昇	不変	低下
3	38	7

【資金繰り】

地区内事業者の資金繰り状況についてコメントする。
 前年同期比18ポイント減少、前期比16ポイント減少、今後の見通し10ポイント減少。全体的に資金繰りが不変ないし悪化している事業所が多く、今後経営悪化の事業所が増加することが予想される。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
2	36	11	2	37	10	3	38	8

【雇用動向】

地区内の雇用動向をコメントする
 前年同期比2ポイント減少、前期比4ポイント減少、今後の見通し増減なし。
 今後も多少の変動はあるものの、このまま推移していくものと考えられる。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
増加	不変	減少	増加	不変	減少	増加	不変	減少
3	42	4	1	44	3	1	46	1

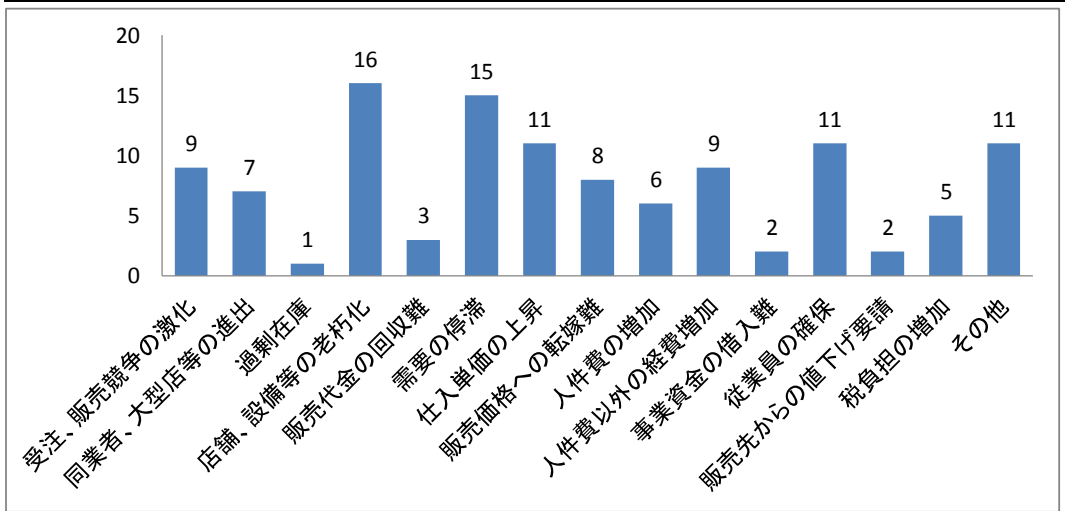
【景況判断】

地区内の景況判断についてコメントする
 前年同期比20ポイント減少、前期比9ポイント減少、今後の見通し25ポイント減少。全般的に景況が悪いと感じている事業所が多い。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
5	29	15	7	29	11	4	28	16

【経営上の問題点】

地区内事業者の経営上の問題点についてコメントする
 「店舗・設備の老朽化」「需要の停滞」が多数を占めている。景況感が良くない為、設備の更新等が出来ない事業所も多い。また、世代交代等により、「従業員の確保」を経営上の問題点として挙げている事業所が多い。



3. 産業別景況概要

(1) 製造業

- ・前年同期比
採算・資金繰りが44ポイント低下、仕入単価が33ポイント上昇。
- ・前期比
資金繰りが44ポイント低下、売上・採算が33ポイント低下。
- ・見通し
仕入単価が33ポイント上昇、売上・採算が22ポイント上昇、資金繰りが22ポイント低下。
売上・採算の今後の見通しは上昇しているが、全般的にみると、回復してるとは言い難い。

(2) 建設業

- ・前年同期比
仕入単価が50ポイント上昇、売上が33ポイント上昇。
- ・前期比
売上が56ポイント上昇、仕入単価が38ポイント上昇。資金繰りが33ポイント低下。
- ・見通し
仕入単価が38ポイント上昇、売上が33ポイント低下、景況が33ポイント低下。

現状では徐々に回復しているが、見通しとしては厳しいと考えている事業所が多い。

(3) 卸・小売業

- ・前年同期比
売上・仕入単価が27ポイント上昇、景況が27ポイント低下。
- ・前期比
売上・販売単価が27ポイント上昇。
- ・見通し
売上が45ポイント低下、景況が40ポイント低下、採算が36ポイント低下。

現状では売上が上昇しているが、今後の見通しとしては、厳しい状況を迎えると考えている事業所が多い。

(4) サービス業

- ・前年同期比
仕入単価が42ポイント上昇。景況が30ポイント低下。
- ・前期比
仕入単価が33ポイント上昇、売上が20ポイント上昇、景況が33ポイント低下。
- ・見通し
景況が30ポイント低下。売上が15ポイント低下。

前期比で売上が上昇しているが、景況の上昇は難しいと思われる。